

入試まで半年を切りました

学習習慣がイノチ 1日1日を大切に!

R4 **1月8日** (土) **県立適性検査・面接**

R4 **1月21日** (金) までに **合格者発表**

(R4年)岡山県立中学入学者選抜実施大要 より

- **適性検査I**(算・理) **適性検査II**(国・社)は変わらず。懸念されていた「英語」の検査については触れていません。
- **面接**も同日に例年通り実施。
- **出願**はR3 **12月1日(水)～3日(金)**までの3日間

R4 **1月5日** (水) **岡山白陵中学** 入試

岡山白陵中学入試が大きく変わります

① **ウェブ出願、ウェブ合格発表になります**

※ R4年度入試より、個人での出願に統一

② **集合時刻(8:50)・終了時刻(12:20)ともに例年より早くなります**

③ **学力試験の時間が50分になります(例年より10分間短縮) 教科は国語・算数・理科**

R4 **1月7日** (金) **合格発表** (ウェブ)

R3 **12月5日** (日) **就実中HG** 入試

国語・算数・理科 各60分

R3 **12月11日** (土) **就実中AD** 入試

適性検査型 I II 各45分 + 面接

R3 **12月12日** (日) **就実中AD** 入試

算数・国語 各50分 + 面接

R4 **1月16日** (日) **就実中AD・他** 入試

就実中は全コース男女共学化に変更

夏こそ大切!PDCAの習慣化

スタディプランを立てよう

ここ3ヶ月を見てもきちんとPDCAを実践している生徒さんは、着実に成績をUPさせています。これに対し、計画をまったく立てていない生徒さんは、なかなか成績の向上が見られません。答えは、明白ですね。保護者様との面談の中で特に気づいたこと。それは「**計画を立てることは大切だと思うけれども、具体的な書き方がわからない**」ということです。どうすれば、PDCAの習慣化ができるのでしょうか?

子ども任せにしない。→PDCA習慣化には保護者のサポートが必要です。

PDCAの実践→習慣化

全人類共通の財産とは? → 1日24時間

- 1) Plan...2週間分のデイリープラン(起床から就寝まで何をするか)を立てる。
- 2) Do...計画表に沿って実践する。
- 3) Check...就寝前に1日の反省をする。本人のコメントと共に保護者のチェックが必要。
- 4) Action...前週のチェックを活かして、問題点を克服する。

提出されるスタディプランを見てわかることですが、毎週きちんとPDCAを実践しているのはお子さんだけでなく、**保護者の力**が大きいです。立案から、毎日のチェック、反省(主に「ほめ言葉」)に至るまで**保護者のサポート**がなされています。

「仕事が忙しくてそこまで手が回らない」「そんなことは塾でやってもらって」……「勉強しなさい」「宿題やったの」「テストの点は?」と言うだけで、具体的なサポートを忘れていませんか?PDCA習慣化は、大人でもなかなかできません。ましてや子どもに丸投げでは、まず不可能です。

- ① 保護者様のお仕事が忙しければ忙しいほど、**時間を決めて**お子様のPDCA習慣化のサポートをお願いします。10分でOKです。「**時間がないから宿題ができない**」と言う子は、「**時間があってもできない**」子ですと以前言いました。同じことが保護者様にも言えます。サポートの時間を作って下さい。
- ② 必ず「**ほめ言葉**」から**入ってください**。つまり、「**できた!**」を「**ほめる**」のです。そうすれば、お子様の自己肯定感が増し、ヤル気も出ます。「ダメ!」「当たり前だろ」は禁句です。前より少しでもできたことは、その都度具体的にほめて下さい。
- ③ 計画は具体的に**数値化**しましょう。成績UPが著しいお子さんほど、目標設定が数値化されており、具体的です。例えば、前回の算数〇〇テストは△△満点中、□□点だった。次回は各プラス5点を目標としたい。